

南ア月報
(2019年12月)

【内政】

- ヨハネスブルグ新市長の選出

【外政】

- ラマポーザ大統領のギニア、ガーナ、トーゴ訪問
- マブーザ副大統領のウガンダ、スーダン訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 南アフリカ航空 (SAA) が、民事再生手続きへ

【広報・文化】

- 日本語能力試験 (JLPT) の実施

【警備】

- 邦人の犯罪被害発生状況 (2019年) について

1 内政

●ヨハネスブルグ新市長の選出

4日、ヨハネスブルグの新市長として、ANCのジェフ・マクーボ氏（Mr. Geoff MAKHuBO）氏が選出された。10月にハーマン・マシャバ（Mr. Herman MASHABA）前市長が同市長を辞任（同時にDAからも離党）したのを受け、臨時選挙が行われたものである。

2 外政

●ラマポーザ大統領のギニア、ガーナ、トーゴ訪問

4日から6日にかけて、ラマポーザ大統領はギニア、ガーナ及びトーゴを訪問した。一連の訪問では、南アとこれらの国との貿易、インフラ開発及び技術移転における協力などに焦点が当てられた。農業分野では、生活のための農業を産業規模に成長させるための協力が話し合われた。南アとこれらの国は、2020年までの紛争終結イニシアティブ（Silencing the Guns in Africa by 2020）やアジェンダ2063の達成のために協力することを確認した。これらの訪問は、南アのAU議長国就任に向けた準備の一環である。

●マブーザ副大統領のウガンダ、スーダン訪問

19日、マブーザ副大統領はウガンダを訪問し、ムセヴェニ大統領と会談した。両者は、南スーダンの平和促進に関する新和平合意の実行のために協力することを確認した。マブーザ副大統領は、IGAD（政府間開発機構）に促され、南スーダンの紛争の当事者間の対話を調停している。その後、マブーザ副大統領はスーダンを訪問し、アブデル・ファタハ・エル・ブルハン主権評議会議長と会談した。マブーザ副大統領は、同議長に当事者間対話の成果を報告した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数（CPI）

11月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.1%上昇した。年間消費者物価インフレ率は3.6%と前月に比べ0.1%下落。（南ア統計局、12月11日）

●為替レート

2019年12月31日付（南ア準備銀行）

7.7387ランド/円

14.0418ランド/米ドル

15.7437ランド/ユーロ

●製造業生産高

10月の製造業は、前年同月比0.8%減。10部門中7部門でマイナス成長となった。主なマイナス要因は、木材および木材製品、紙、出版及び印刷で6.1%減。鉄及び銅、非鉄金属、金属及び機械製品で2.2%減。主なプラス要因は、食品、飲料品で4.0%増。季節調整後生産高は、前月比2.7%増。また過去3ヶ月（8～10月）の季節調整後生産高は5～7月に比べ0.5%減で、製造業10部門中5部門で生産高増となった。（南ア統計局、12月10日）

●鉱業生産高

10月の鉱業生産高は、前年同月比2.9%減。主なマイナス要因は、ダイヤモンドで39.3%減。一方で、鉄鉱石は11.1%増となった。季節調整後生産高は前月比1.0%増、また過去3ヶ月（8～10月）の季節調整後生産高は5～7月に比べ1.9%減となった。（南ア統計局、12月10日）

<出来事>

●南アフリカ航空（SAA）が、民事再生手続きへ

12月5日、南ア政府は、南ア国営企業の1つである南アフリカ航空（SAA）が民事再生による破産手続きに入ることを発表した。2011年以降赤字が続いており、負債総額は200億ランド以上といわれ、主な原因はガバナンスの失敗、汚職、低コストの他航空会社との競争があげられる。今後は、更生管財人の指導のもと、経営の立て直しを図る。

4 広報・文化

●日本語能力試験（JLPT）の実施

1日、ヨハネスブルグ日本人学校において、当地では6回目となる日本語能力試験（JLPT）が実施され、53名の応募があった。JLPTは、日本語を母語としない者の日本語能力を測定・認定することを目的とした試験であり、国際交流基金と日本国際教育支援協会が運営している。日本国内を含め、85の国・地域、249都市（2018年実績）で実施されている世界最大規模の日本語試験である。南アでは、2014年に実施されて以来、応募者数は毎回50名前後で推移しており、試験に対する認知度が定着しているとともに、当地において日本語学習を開始する契機としての役割を果たしている。

5 警備

●邦人の犯罪被害発生状況（2019年）について

南ア国内において2019年中に発生した邦人を被害者とする犯罪の発生件数については47件で、前年比10件の増加となった。当局による治安改善の取り組みが行われてはいるものの、治安が安定するにはほど遠い状況で、南アで行動する場合は、引き続き十分な注意が必要である。

2019年は、旅行者の路上強盗被害が急増し、過去5年間で最も多かった。一方で、置引き・車上ねらい（窃盗）の被害件数が減少した。窃盗で最も多かったのは、車上ねらい及びATMにおけるクレジットカード・デビットカードのすり盗りであった。そのうち、すり盗りについては、ATMで現金を引き出す際にデビットカード等をすり盗り、直後からカードを不正使用する手口である。

類似の手口として、駐車券や通行券の発行名目で被害者をATMに案内する手口があるが、主にケープタウンで発生していたこの手口が東ケープ州やハウテン州でも発生しており、新たな手口として拡散傾向にある。

罪種（手口）		2018年	2019年
窃盗等	自動車盗	1件	1件
	置引き	6件	1件
	車上ねらい	8件	4件
	ひったくり	2件	3件
	侵入盗	2件	2件
	スマッシュ・アンド・グラブ	1件	0件

	A T Mカード盗	5 件	4 件
	スリ	1 件	2 件
	偽警察官による窃盗	0 件	0 件
	スキミング/ カード不正使用	3 件	0 件
強盗	路上強盗	2 件	1 3 件
	カージャック (うち偽警察官)	2 件 (0 件)	3 件 (0 件)
	住宅侵入強盗	0 件	0 件
	その他	4 件	1 4 件
	計	3 7 件	4 7 件